

令和6年度 宗谷管内コンプライアンス確立会議

日時：令和6年5月29日（水）15:30～16:30 Web会議システム（ZOOM）による遠隔会議

参加者：管内各市町村教育委員会教育長、北海道稚内高等学校長、北海道稚内養護学校長、管内校長会会長 計13名



宗谷教育局は、5月29日（水）にWeb会議システム（ZOOM）を活用して、コンプライアンス確立会議を開催した。

本会議は、教職員の不祥事等の再発防止に向け、職員一人一人が服務規律の確保や法令遵守について高い意識を持つことが求められていることから、管内全体で、その未然防止に向けて取り組んでいくため、教職員の不祥事等の再発防止に向けた取組に対する意見交換や情報共有を行い、より実効性のある再発防止策を検討することを目的に開催した。

会議には、各市町村教育委員会教育長に加え、稚内高等学校長、稚内養護学校長、管内校長会会長が出席し、不祥事防止に向けた取組などについて意見交換の上、今年度の重点目標を決めた。

○ 開会挨拶

宗谷教育局長 笠井 浩

教職員の不祥事は、言うまでもなく、決してあってはならないものであり、学校教育の根幹を揺るがす問題である。

今後とも、各市町村教育委員会や各学校におかれては、教職員に対する指導や注意喚起の在り方が、会議などによる形式的な伝達にとどまることなく、管理職員自らが教職員一人一人と向き合い、不祥事は絶対に起こさないよう、強いメッセージで心に響く指導を図っていただくようお願いする。

○ 講話「学校職員の不祥事防止について」

総務政策局総務課主幹（不祥事防止対策官） 古屋 和治 氏

北海道教育庁総務政策局総務課の古屋主幹（不祥事防止対策官）より、懲戒処分の発生状況や不祥事防止に向けた取組事例などについて説明いただくとともに、ケース・メソッドを取り入れた研修を実施するなどして、普段から不祥事というものを自分事として捉える意識を醸成することの重要性について講話をいただいた。

○ 意見交換

渡辺教職員係長から、令和6年度宗谷管内不祥事防止の重点目標の設定及び不祥事防止対策の取組について説明後、意見交換を行った。

<意見>

- ・全体研修はもちろん、個人毎の状況を踏まえた個別研修も随時実施していくことが教職員の危機意識を高めていくことに繋がる。
- ・普段の何気ない行動が不祥事の種になりかねないという意識を持つことが重要である。
- ・校内で起こったヒヤリハットの職員間での共有などを行っていく中で、一人一人の不祥事防止の意識が醸成されていく。
- ・過去に懲戒処分となった事例を疑似体験してもらい、何故このようなことが起こったのかなどについて職員間で検証する取組は、一人一人の心に響く効果のある取組だと感じた。

<結果>

不祥事を許さない職場環境や人間関係づくりを組織的に推進することや全教職員の当事者意識の醸成を図ることが、不祥事等の発生を未然に防ぐことにつながると確認した。

そのため、職員一人一人が当事者意識を持って行動することはもとより、組織的な取組をとおして個人の意識を高めるため、不祥事防止に向けた重点目標を設定し、全教職員、学校、市町村教育委員会、教育局が一体となった取組を推進する必要性を共通理解した上で、重点目標を「**交通事故・違反の根絶**」、「**わいせつ・ハラスメントの根絶**」に設定することを全会一致で承認し、不祥事防止に向けた取組を推進することとした。

